

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

1. 改訂情報

No.	変更年月日	内容
1	2025/10/01	初版
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
1	サンプルアプリケーションの取り扱いについて	同梱のサンプルアプリケーションは、保守サポート対象外です。 ・顧客ダッシュボード システム開発の参考としてご利用ください。 ※実際のプロジェクトにおいては、要件に対する実現方式やパフォーマンス等を考慮のうえご利用ください。
2	生成AIの取り扱いについて	生成AIを利用する機能については、秘匿すべき情報（機密情報や個人情報）についてご注意ください。 外部の生成AIサービスを利用する機能となりますので、情報の取り扱いは外部サービスに依存します。 入力する内容などの使用方法に応じて、適切な生成AIサービスをご利用ください。 その他、出力結果の偏りや正誤、著作権など、生成AI利用時のリスクについてもご注意ください。
3	国際化対応について	intra-mart DPSではローカールを日本語のみ対応しております。 テナントと各ユーザのタイムゾーン設定は日本語のみ対応しております。
4	日付の形式について	intra-mart DPSでは日付の表示形式を「yyyy/MM/dd」「yyyy/MM/dd HH:mm:ss」の形式としています。
5	DPSのシステムユーザが登録されます	テナント環境セットアップ時にDPSシステムユーザ（dps_system_user）が作成されます。 IM共通マスタのメンテナンス画面等から変更/削除しないようにして下さい。 DPSシステムユーザは以下の権限が付与されています。 ・ロール：Scheduleアクセス権除外ユーザ DPS for Sales8.0.0～8.0.8をご利用の場合 下記ロールを付与する必要があります。 ・アプリケーションロール：iACのライセンス DPS for Sales8.0.9以降をご利用の場合 アプリケーションロールの不要は必要ありません。8.0.9から付与なしに変更になりました。
6	IM共通マスタの組織構成に変更があった場合、「【Core】集計組織情報作成」のジョブネットを起動するようにして下さい	DPSアプリケーションでは「【Core】集計組織情報作成」ジョブネットによって作成される集計組織情報のデータを使用して実装している機能があります。正常動作のためにIM共通マスタの組織情報の構成を変更した際には対象のジョブネットを起動して集計組織情報を最新化するようにお願いします。
7	画面からコード区分の新規追加はできません	intra-mart DPSではコード区分マスタへの画面からの新規追加はできません。
8	コードの表示順の制御について	intra-mart DPSではコードマスタに登録されている項目の表示順を変更することができます。 表示順の変更は、対象のコード区分の編集画面のコードタブにて、グリッド上のレコードを「ドラッグアンドドロップ」で行います。
9	郵便番号マスタの情報は別途最新化を行う必要があります	DPS Core DBの郵便番号マスタについては別途データを最新化するようにしてください。 データは日本郵便株式会社の提供している郵便番号データから設定してください。
10	取引先の自社担当者は主所属の組織を持つIMユーザしか設定できません	intra-mart DPSでは取引先に自社担当者(IMユーザ)を紐づけることができます。 担当者(IMユーザ)は所属組織のいずれかに「主所属」が設定されている必要があります。

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
11	商品販売価格、商品購買価格のデフォルト設定について	intra-mart DPSでは商品販売価格、商品購買価格のデフォルトを設定することができます。 初回レコード追加時、対象レコードがデフォルトとなりチェックONになります。 デフォルトのレコードには取引先を紐づけることはできません。（取引先別価格）
12	商品カテゴリーツリーのDB更新タイミングについて	商品カテゴリの編集画面も他の画面同様DBへの更新タイミングはヘッダ部の更新ボタン押下時となります。 ・追加、確定、削除ボタン押下時はDBへの更新は行っていません。
13	セット商品内包に循環参照のデータは登録できません	intra-mart DPSではセット商品に内包情報を紐づけることで階層構造を実現していますが、循環参照となるデータの登録はできません。 例： セット商品A └ セット商品B └ セット商品A . . . 循環参照のデータとなり登録できない。
14	カレント組織が選択されていない場合、for Salesを利用することはできません	ログインユーザのカレント組織が選択されていない場合、for Salesを利用することはできません。
15	組織情報の検索/参照について	組織作成や組織改正等を行った際には「【Core】集計組織情報作成」のジョブネットを実行してください。 作成された集計組織情報によってfor Salesを使用することが出来ます。
16	intra-mart Accel Collaborationのスケジュール画面からfor Salesのスケジュールは編集できません	for Salesから活動予定をintra-mart Accel Collaboration（以下iAC）のスケジュールに連携しております。 その連携したスケジュール情報(iACスケジュール画面上から編集できません。 編集したい場合は、再度for Salesの活動予定から編集してください。
17	【WEBモバイル】 端末の文字サイズを変更すると画面の文字サイズが大きくなり、レイアウトが崩れる場合がある	モバイル端末の文字サイズを変更すると画面の文字サイズが大きくなり、レイアウトが崩れる場合がある。 文字サイズは工場出荷時点の文字サイズ（デフォルト）で利用するようにお願いします。
18	新規/既存区分の切り替えについて	顧客の新規/既存区分については、手動での切り替えとなります。 （紐づく案件の状態が「受注確定」「売上確定」になっても自動で「既存」にはなりません）
19	IM共通マスタの会社単位でデータを分けて管理できません	for Salesは1テナント1会社のためテナント内でデータが共有されます。（IM共通マスタで複数会社がある場合でも、テナント内全体で参照/編集が行えます） 複数会社でデータを分けて管理する場合はテナントレベルで分けることを推奨しております。
20	案件の組織について	案件に紐づく組織は、自社担当者の主担当者で選択されている組織になります。
21	自組織検索を行うには「【Core】集計組織情報作成」のジョブネットを起動する必要があります	「【Core】集計組織情報作成」のジョブネットを起動することで、for Salesの検索/集計用組織情報が作成されます。
22	名刺一括登録時の名刺画像について	名刺一括登録機能で名刺画像を登録する際に、名刺画像に背景模様や区切線などがあるとOCRがご認識して正常に名刺を取り込めない場合がございます。 その場合はWEBモバイルからの名刺登録で認識範囲を調整することで解消する場合がございます。
23	取引先の取引状況を表示するには「【for Sales】取引先集計情報」のジョブネットを起動する必要があります	「【for Sales】取引先集計情報」のジョブネットを起動することで、for Salesの取引先の実績情報を取得して集計情報が作成されます。

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
24	キャンペーンの実績情報を表示するには「【for Sales】キャンペーン集計情報」のジョブネットを起動する必要があります	「【for Sales】キャンペーン集計情報」のジョブネットを起動することで、for Salesのキャンペーンの実績情報を取得して集計情報が作成されます。
25	リードに紐づく案件情報を表示するには「【for Sales】リード案件集計」のジョブネットを起動する必要があります	「【for Sales】リード案件集計」のジョブネットを起動することで、for Salesのリードに紐づく案件情報を取得して集計情報が作成されます。
26	インポート・エクスポート機能の上限値	インポート・エクスポート・リスト出力では初期設定で以下の件数制限を掛けています。システムパラメータから変更可能です。 ・インポート (Excel) : 10,000 ・エクスポート (Excel) : 30,000 ・インポート (CSV) : 50,000 ・エクスポート (CSV) : 50,000 ・リスト出力 : 30,000
27	集計帳票機能の上限値	集計帳票の出力では初期設定で以下の件数制限を掛けています。システムパラメータから変更可能です。 ・出力行数 : 20000 ・複数行文字列の項目の出力文字数 : 200
28	1取引先に追加できる取引先分類の上限値	1取引先に追加できる取引先分類は最大3個となります。
29	商談フェーズの定義数	案件分類に応じた商談フェーズを定義することが可能ですが、定義できるのは10個までとなっております。
30	名刺一括登録時の枚数について	最大100枚までとなっております。 ファイル形式はzipファイルで、名刺画像自体のファイル形式はjpegをご指定下さい。
31	リードのアクションの編集機能について	アクションの編集機能は最新のアクションのみ編集が可能となっております。
32	商談状況枠の項目と商品情報(明細)の項目が連動について	商品情報(明細)が1行でもある場合、商談状況枠の案件状態、受注確度、受注予定日、売上予定日、受注金額、見込利益、見込利益率、失注金額は入力不可となり、以下のルールに従って自動反映されます。 ・案件状態は商品情報(明細)の行の中で状態の優先度を判定して自動的に反映されます。 優先度は売上確定(03)>受注確定(02)>活動中・様子見(01)>失注(04)となります。 (例) 明細の行の中に売上確定(03)が存在する場合は案件状態「売上確定(03)」で反映。 明細の行の中に活動中・様子見(01)、受注確定(02)が存在する場合は案件状態「受注確定(02)」で反映。 明細の行の中に失注(04)のみ存在する場合は案件状態「失注(04)」で反映。 ・受注確度は商品情報(明細)の行の中で状態が活動中・様子見(01)/受注確定(02)/売上確定(03)、且つ確度が一番高い(ソート順が低い)のものが自動的に反映されます。 ・受注予定日は商品情報(明細)の行の中で状態が活動中・様子見(01)/受注確定(02)/売上確定(03)、且つ受注予定日が一番古い日付のものが自動的に反映されます。 ・売上予定日は商品情報(明細)の行の中で状態が活動中・様子見(01)/受注確定(02)/売上確定(03)、且つ売上予定日が一番新しい日付のものが自動的に反映されます。 ・金額項目は商品情報(明細)の合計金額(受注金額、見込利益、見込利益率、失注金額)が自動的に反映されます。 ※案件状態のコード区分の付加情報1(value1)の値を用いて状態の判定処理を行っています。
33	活動予定リマインド機能について	活動予定リマインド機能 (ジョブネット) については利用することができません。

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
34	案件インポート上限値について	案件インポート・エクスポートではEXCELファイル圧縮のため、以下のように上限値を設けています。 ・商品20項目 ・自社担当者10人 ・案件関係者10人 画面から上限値を超えて入力可能のため、エクスポート時には上限値までエクスポート可能となります。 超過分はエクスポート出来ません。
35	非公開機能はロールを追加設定することにより閲覧範囲が変わります	非公開機能はロールを追加設定することにより閲覧範囲が変わります。 ①公開/非公開に限らず全てのレコードを全ての画面から参照したい場合 ロールID : sfa_all_access_user ロール表示名 : 【SFA】 全アクセス可能ユーザ 案件/活動のトランザクションデータに対し共有グループの設定も必要になります。 ②集計帳票の機能に限り、公開/非公開に限らず全てのレコードを参照したい場合 ロールID : sfa_report_all_access_user ロール表示名 : 【SFA】 帳票全アクセス可能ユーザ 案件/活動のトランザクションデータに対し共有グループの設定も必要になります。 ③非公開のレコードは参照させたくない場合 ロールの追加設定は不要です。
36	案件の一時保存、登録可能上限値	ログインユーザ毎の一時保存数は10個までとなります。
37	活動の一時保存、登録可能上限値	ログインユーザ毎の一時保存数は10個までとなります。
38	活動予定、活動実績の一時保存、登録可能上限値	ログインユーザ毎の一時保存数は活動予定、活動実績（PC版）、活動実績（WEBモバイル）各10個までとなります。
39	拡張項目選択アイテム、抽出上限値	拡張項目選択アイテムには抽出できる上限値があります。 ・一覧ダイアログ 抽出上限値はございません。 ・チェックボックス、セレクトボックス 抽出上限値50個となります。システムパラメータから変更可能です。 選択アイテム定義画面でアイテムを登録時には抽出数の上限はございません。画面表示時に最大50件まで表示されます。 （例）選択アイテム定義画面でSQL定義時に100件抽出した場合、定義の登録は可能となります。取引先などの画面で表示時に取得順に50件のみ表示されます。

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
40	案件インポート時、非公開案件の共有グループ設定について	案件インポート時、非公開案件の場合は、担当者を共有グループへ差分で追加致します。 (例) 担当者を追加したい場合：案件インポート時に追加をしたい担当者を記載ください。 システムで自動的に共有グループへ差分で追加致します。 担当者を削除したい場合：案件インポート時に削除をしたい担当者を記載ください。 担当者情報は削除致しますが、共有グループの内容変更はPCからお願い致します。 担当者を変更したい場合：案件インポート時に変更をしたい担当者を記載ください。 担当者情報は削除と追加を致しますが、共有グループの内容変更はPCからお願い致します。
41	全文検索時のシステムパラメータについて	全文検索機能使用時、システムパラメータ「活動の添付ファイル検索対象有無」と「案件の添付ファイル検索対象有無」は0固定での使用をお願いします。
42	人事異動時の対応について	人事異動時に担当者変更のため、案件の付け替えを行います。人事異動発令の前に案件の付け替えをお願いします。 案件の所有者(組織)は、案件の自社担当者(主担当)を元に制御しております。 非公開機能を使用している場合には、共有グループの付け替えをお願いします。
43	リード詳細画面からの活動予定/実績登録について	リード詳細画面から活動予定/実績を入力したい場合は、システムパラメータから変更可能です。
44	パーソン詳細画面からの活動予定/実績登録について	パーソン詳細画面から活動予定/実績を入力したい場合は、システムパラメータから変更可能です。
45	iPhone/iPadから DPS for Sales のファイルアップロードを使用することが出来ません	iPhone/iPadなどのスマートフォン端末でアプリケーションを実行した場合、画面アイテム「ファイルアップロード」を利用してファイルを登録することができません。
46	タブレット、PC用の画面を表示した際、ブラウザの仕様により制限される機能があります	PC用の画面を表示した際、ブラウザの仕様により制限される機能があります。 例えば、以下の機能が制限されます。 ・ 帳票登録画面、明細行による並び順変更のドラッグアンドドロップ ・ 拡張項目設定画面、明細行による並び順変更のドラッグアンドドロップ
47	担当者一括変更時の対象選択数上限	取引先担当者一括更新画面、案件担当者一括更新画面において変更・追加・削除、各50件までとなります。 取引先と案件のそれぞれでシステムパラメータから変更可能です。
48	システムパラメータ「他組織を検索できるかフラグ」はご利用できません。	非公開機能実装により本機能は利用できなくなりました。「他組織を検索できるかフラグ」は「他組織を検索できない：0」固定での使用をお願いします。
49	取込済みの名刺について	8.0.7で名刺情報の履歴化機能が追加されました。8.0.6以前に取り込まれた名刺情報は履歴表示致します。 その過去名刺全てに現在のパーソン情報を設定致します。(テナント環境セットアップ時) 名刺交換日、名刺交換者は各名刺ごとの情報が保持され上書きされません。
50	一時保存の検索について	一時保存の検索はPCで行った一時保存はPCでのみ検索/編集が可能です。WEBモバイルで行った一時保存はWEBモバイルでのみ検索/編集が可能です。 PCで行った一時保存はWEBモバイルで編集出来ません。
51	案件インポートは非公開機能の会社・組織、パブリックグループには対応していません	案件インポートは非公開機能の会社・組織、パブリックグループには対応していません。ユーザ毎の非公開機能には対応しております。 案件に既に設定されている非公開の共有グループについては変更されません。
52	案件APIは非公開機能の会社・組織、パブリックグループには対応していません	案件API(取得、登録、更新、削除)は非公開機能の会社・組織、パブリックグループには対応していません。ユーザ毎の非公開機能には対応しております。

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
53	【WEBモバイル】通知機能には一部制限があります	WEBモバイルでは受け取れる通知は下記通知となります。 ・活動予定登録・更新、活動実績登録・更新、活動コメント ・案件登録・更新、コメント WEBモバイルでは下記通知は受け取れません。 ・取引先コメント
54	Sansanから連携する名刺情報について	Sansanから取り込まれる名刺情報は表面のみとなります。裏面は取り込まれません。
55	活動実績インポート上限値について	活動実績インポート・エクスポートではEXCELファイル圧縮のため、以下のように上限値を設けています。 ・同行者10人 ・参加者10人 画面から上限値を超えて入力可能のため、エクスポート時には上限値までエクスポート可能となります。 超過分はエクスポート出来ません。
56	検索条件機能の保存数上限値	検索条件保存機能では初期設定で以下の件数制限を掛けています。システムパラメータから変更可能です。 ・パブリック検索条件：10 ・プライベート検索条件：10
57	一覧取得/検索機能にて取得件数上限値	一覧取得/検索機能では初期設定で以下の件数制限を掛けています。システムパラメータから変更可能です。 ・キャンペーン検索上限件数：50,000 ・リード検索上限件数：50,000 ・パーソン検索上限件数：50,000 ・取引先検索上限件数：50,000 ・案件検索上限件数：50,000 ・活動検索上限件数：100,000 ・商品検索上限件数：50,000
58	同姓同名対応について	IM共通マスタに同姓同名のユーザを作成し運用する必要がある場合、ユーザ名を一意になる運用をお願いします。 例) イントラマート太郎（営業）、イントラマート太郎（経理）など 同姓同名のユーザをインポート・エクスポート出来ない場合があります。
59	インポート・エクスポート時に名前で指定している項目は一意になる運用をお願いします	インポート・エクスポート時に名前で指定している項目は一意になる運用をお願いします。 例) 活動実績インポートのキャンペーンセレクトボックスは名前で一意で指定しております。 同名のキャンペーンなどをインポート・エクスポート出来ない場合があります。

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
60	コード区分マスタは期間化に対応しておりません	コードマスタ (scmn_m_cd) に付きましては現在期間化に対応しておりません。 カラムは存在しておりますが、コード区分のメンテナンス画面上からは期間ごとに設定できないように制御されております。 下記日付にて運用をお願い致します。 ・開始日：「1900/01/01」で現在は固定値 ・終了日：「3000/01/01」で現在は固定値
61	コード区分マスタは論理削除に対応しておりません	現在、コードマスタ (scmn_m_cd) に付きましては論理削除に対応しておりません。 コード区分の画面から削除を行った場合には物理削除を行っております。
62	Excelの入力規則機能、文字数上限について	インポート・エクスポート時にExcelの入力規則機能を用いて選択肢を表示する機能があります。 Excelの仕様により、入力時メッセージの上限値は255文字となっております。 拡張項目（チェックボックス）を登録した場合、入力時メッセージの上限文字数を超える場合があります、エクスポートしたエクセルファイルが正常に動作しない可能性があります。 例）・選択肢が多い拡張項目 例）・選択肢の文字数が多い拡張項目
63	WARファイル作成時における intra-mart Accel Collaboration の選択必須について	DPS for Sales 8.0.0～8.0.8の環境を新規で構築する場合、IM-Jugglingのアプリケーション選択において、intra-mart Accel Collaboration の選択は必須です。 選択しない場合はテナント環境セットアップに失敗します。 既にDPSの環境をintra-mart Accel Collaboration 抜きで構築済みの場合は機能差異などなくご利用頂けます。 ※8.0.9からは任意選択となりました。
64	Viewを個別実装している場合、アップデート時のテナント環境セットアップでViewの参照テーブル変わる場合があります	アップデート時にテーブルをバックアップする必要があります。 バックアップはテーブル名をリネームし、新規テーブルを作成しております。Viewの仕様から参照元のテーブル名をリネームした場合、リネームした後のテーブル名を参照致します。 その場合はアップデート後にView定義を元のテーブル名に戻すようお願い致します。
65	テーマについて	intra-mart DPSでは推奨テーマを「SlimDropdown」を推奨しています。 「SlimDropdown」以外のテーマを選択された場合は、レイアウトが崩れる可能性があります。 また、DPSアプリケーションは個別にCSSを適用しているため、テーマの色が反映されません。
66	タイトルバーボタン設定上限値について	タイトルバーボタン設定機能では初期設定で以下の件数制限を掛けています。システムパラメータから変更可能です。 ・1画面毎の表示できる可能なボタン数上限：10 ・画面遷移時のリクエストパラメータ数上限：30
67	Accel Platform Mobileのリンク押下時の挙動について	Accel Platform Mobileを使用している場合、OS毎にリンク押下時の挙動が異なる場合があります。 ・iOSの場合、Webview内で遷移します。スワイプをすることで画面を戻すことが出来ます。 ・Androidの場合、別ブラウザに遷移します。 別ウィンドウ遷移するなど設定で変更できません。

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
68	8.0.10以降へアップデートする場合、活動の同行者の所属組織は各ユーザの主所属組織で補完が行われます	8.0.10より組織兼務機能が追加されました。 そのため、活動の同行者テーブルに新たなカラムを追加しています（会社コード、組織セットコード、組織コード）。 8.0.10以降へアップデートする際、活動の同行者の組織情報を自動的に補完します。 この情報は各ユーザの主所属組織に基づいて補完されますが、 主所属組織が設定されていないユーザについては、所属先の最上位の組織（会社）で補完します。
69	8.0.10以降へアップデートする場合、intra-mart Accel Collaborationの選択が必要になります	対象：8.0.9以前のモジュールにintra-mart Accel Collaborationを「含まない」環境でご利用の場合。 IM-Jugglingにおいて、8.0.10以降のバージョンへアップデートする際に、以下のような依存関係のダイアログが表示された場合はアプリケーションモジュールより「intra-mart Accel Collaboration」を追加してから再度アップデートを実施してください。 アップデート後に、intra-mart Accel Collaborationを外してください。 依存関係のダイアログメッセージ iACスケジュール連携モジュールが必要とするモジュール jp.co.intra_mart.product.collaboration.iac_scheduleが見つかりませんでした。
70	案件商品の登録数に上限を設定します	案件の商品情報において、取り扱える商品数に上限を設定します。 この上限数はシステムパラメータで変更可能で、デフォルト値は20件に設定されています。 案件インポート・エクスポート機能においては、この設定に関わらず上限数は20件固定となりますので、ご注意ください。
71	DPS for Salesの標準ロールはサブロールとして使用できません	DPS for Salesの標準ロールはサブロールとして使用できません。 ユーザにロールを直接付与する運用をお願い致します。
72	運用開始後に項目の非表示設定を変更した場合、既に値が登録済みの項目は、非表示後も値はDBに残ります	非表示設定にした項目はトランザクションデータには残り続けます。 再度表示設定にした場合に、過去入力したデータを表示するようにします。
73	非表示設定にした項目はテンプレートファイルには表示されます	標準項目表示画面にて非表示に設定した項目は下記機能では表示されます。テンプレートファイルでは非表示になりません。画面項目は非表示になります。 ・ 通知メール本文 ・ インポートエクスポートのフォーマットファイル ・ REST APIのパラメータ（リクエストボディ、レスポンスデータ）
74	インポートエクスポート機能で非表示にした項目に値を設定し、インポートすると値は登録/更新されます	インポートエクスポート機能で非表示にした項目に値を設定しインポートすると値は登録/更新されます。 値はデータベースに登録/更新され、画面では非表示になります。
75	非表示にした項目はブラウザの開発者ツールから画面に表示することは可能です	非表示にした項目はブラウザの開発者ツールから画面に表示することは可能です。 非表示にした項目の値をサーバに送信しませんので、トランザクションデータに影響はありません。

intra-mart DPS for Sales 8.0.12 制限事項

初版 2025/10/01

2. 制限事項

No.	タイトル	内容
76	非表示の設定を行っている場合でも、登録ダイアログの初期表示では全部の項目が表示されます	非表示設定は分類に紐づいている項目もあります。 登録更新ダイアログでは初期表示時に分類の選択肢が未選択のため、全部の項目が表示され、非表示設定が効いていないように見えます。 分類を選択すると非表示設定が適用されます。 ・取引先分類 ・案件分類 ・活動分類
77	インポートエクスポート機能ではコード値の出力も行います	以下コード値については、項目を入力しない場合でもコード値の設定を行ってください。コード値の全削除はご注意ください。 ・実施内容 ・実施結果 ・課題有無 ・次回有無
78	生成AIを利用するにはIM-Copilotモジュールが必要です	DPS生成AIモジュールを利用するにはIM-Copilotモジュールが必要です。 ※IM-Copilotモジュールを入れない場合はテナントセットアップでエラーになります。 ※詳細は同梱の「040_生成AIセットアップガイド.xlsx」をご参照ください。
79	エクスポート機能は、Excelの制約により1,048,576件を超えてデータ出力はできません	エクスポート機能は、Excelの制約により1,048,576件を超えてデータ出力はできません。 対象機能：各エクスポート機能 リード出力、活動一括登録（登録ファイルのダウンロード）、案件項目指定更新（更新用ファイル取得） 各種集計帳票出力機能
80	音声ファイルから活動の一時保存を自動登録する機能はAzure OpenAIのサービスを利用しています	AI活動自動作成画面において、音声ファイルからの文字お越しにAzure OpenAIのサービスを利用しています。 当機能はご利用になる場合は、Azure Speech to Text（音声テキスト変換）の追加設定が必要です。 ※オーディオ時間が2時間より短く、サイズが 250 MB 未満である必要があります。 ※詳細は同梱の「040_生成AIセットアップガイド.xlsx」をご参照ください。
81	活動一括登録及び、案件項目指定更新はトリガ定義で設定した後処理が実行されません	活動一括登録及び、案件項目指定更新はトリガ定義で設定した後処理が実行されません。